

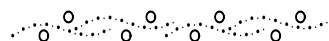


岡田小学校 令和7年度 学校だより

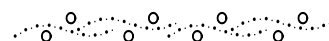
10月3日発行

ふ れ あ い

[学校の様子→](#)



岡田小 4つの願い



岡田小学校は、校訓「明るく 強く 正しく」のもと、**4つの願い**を大切にしています。それは、「**あいさつ・返事・はきものそろえ・ありがとう**」です。この4つの願いは、子どもたちが、将来、社会で自立するために必要なこととして、当たり前になってほしいという願いがあります。

まず、「あいさつ」は、一挨拶（いちあい いっさつ）という言葉に由来し、相手に近づいて心を開き、互いの理解を深めるという意味があります。つまり、相手の存在を認め、敬意を表し、よりよい関係を築くための意思表示です。しかし、子どもたちのあいさつを見ると、すてきなあいさつをする人は少なく、うまく人間関係をつくることができていないように感じます。そこで、以下のことを意識して、あいさつ名人になってほしいと思います。

「あ」…あかるい・あたたかいあいさつ

「い」…いつでも・だれにでも

「さ」…さきに・すすんで

「つ」…つづけて・つぎのことばを

※明るく、温かいあいさつは、周りの人に安心感や信頼感を与えます。



次に、「返事」を返すこと、相手の言動に反応することは、みんなが気持ちよく生活する上でとても大切なことです。自分の名前を呼ばれて、恥ずかしそうに返事をする人、小さな声で返事をする人がまだまだ多いです。名前を呼んだ人に、心と体を向けて「はい」と意思表示をすることで、相手の言うことが聞けるようになります。また、元気よく返事することで、集中力を高めたり、気持ちの切り替えをしたりします。はっきりしない返事は、自分自身も、周りの友達の元気もなくしてしまいます。返事は、「はい」ではありません。人から仕事を任されたり、お願いごとがあって依頼されたりしたとき、「わかりました」とか、「ここがわかりません」など声に出して返事をしてもらえると、伝えた側にも「伝わったんだ」と安心できます。なかなか声を出すのが難しい人もいるかもしれませんが、まずは、名前を呼ばれたら「はい」と返事ができるようにしましょう。返事一つで、人間関係がプラスに変わります。

次に、「はきものそろえ」について考えてみましょう。下の写真は、どちらの置き方が気持ちがいいですか。



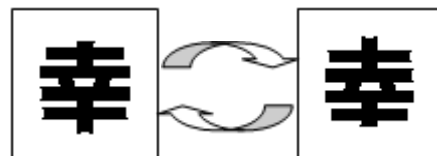
「そろえる」とは、漢字で「揃える」と書きます。手で前を向けると書きます。トイレのスリッパは、手で前を向けてそろえていますか。また、「揃える」には、「複数のものを同じ状態にする」「一列に並べる」という意味があります。くつ箱のくつは、どのクラスも同じ状態でそろえていますか。「揃える」とは、**形をそろえて、心をそろえる**という深い意味があります。左の写真のように、くつのかかとがくつ箱の線にそろっていると、気持ちがいいです。

最後は、「ありがとう」です。教室で、前から後ろにプリントを送る際、「はいどうぞ」、「ありがとう」を伝えている場面をよく見かけます。「ありがとう」が飛び交う教室は、クラスの雰囲気がとても温かいです。ある精神科医の先生が、「感謝する心は、人間社会の中で心穏やかに生きる最高の発明品」「すてきな人間関係の決め手は、『ありがとう』のたった一言」と述べています。まさに、「ありがとう」は、自他を幸せにする魔法の言葉です。

また、ある心理学者の先生は、人が耳にする言葉には、心が落ち込む「否定語」と、心が喜ぶ「肯定語」があり、人は日常生活の中で肯定語を否定語の10分の1しか聞いていないそうです。「ありがとう」が飛び交う教室では、自己肯定感が高まるように感じます。

ここまで、岡田小「4つの願い」について考えてきましたが、「あいさつ・返事・はきものそろえ・ありがとう」は、**自分にとっての幸せ、みんなにとっての幸せ**につながるものであることがわかります。私たち岡田小学校は、教育活動の中で、幸せとは何かを問い続けていきたいと思っています。しかし、幸せとは何かを考えることは、とても難しいことだと思います。なぜなら、自分の幸せと周りの幸せは、必ずしも同じではないからです。

「幸」という字を見てください。ひっくり返して見ても、幸せと読めます。つまり、どちらの立場から見ても変わらない幸せこそが、私たち岡田小学校が求める幸せです。



岡田小「4つの願い」を実践することで、自分の幸せとは何か、周りの幸せとは何かを、今後も追求していきたいと思っています。

(校長 小畠 正嗣)